

平成29年 9月29日(金) 発行



高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



平成29年度 全国高等学校総合体育大会 **137-14**

繋がる絆 魅せよう僕らの若さ

2017 7/28 ~ 8/20



第80号
2017・9

挨拶



父母の会会長
桂川 淳

子ども達が高校という新しい環境に入って早や二年が過ぎ、いよいよ高校生活の集大成ともいえる最終学年を迎えました。その最終学年で父母の会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。子ども達が安心かつ充実した高校生活が送れるよう、新役員が一体となって全力でサポートしていく所存ですので、どうかよろしくお願いいたします。今年度は総合ビジネス科の会計コースで会計のスペシャリストの育成を目指し、特別進学国際コースでグローバル化への対応を目指すなど、特色ある教育方針のもと、自主・自立という建学の精神が培われ、将来の進路実現のための礎となっています。また、新入生も五四五名と大幅に増加し、同時に父母の会も大所帯となりました。

まず、五月の総会では皆様のご協力のもと滞りなく議事が進められましたこと、厚く御礼申し上げます。また、六月下旬からの学年・学級懇談会では、各学年においてテーマに添った活発な意見交換がなされ、保護者同士はもちろんのこと、先生方とも顔を合わせることでできる貴重な機会を有意義に過ごすことができたのではないのでしょうか。今年は二年に一度のスポーツ祭が高崎アリーナで開催されます。既に国際的なイベントが開催されているアリーナでの子ども達の躍動する姿を想像すると、今からとても楽しみです。

三年生はいよいよ自分で進路を決め、挑戦する時が来しました。今まで本校で培ってきた実力を十二分に発揮し、目標達成に向けて頑張ってください。私達保護者も、先生方と協力してしっかり見守り応援していきましょう。校歌にもあるように、高崎の空は世界に続いています。この商大附高から世界に向かって大きく羽ばたいて行くことを願って。結びに、商大附高の益々の御発展と会員の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

挨拶



校長
高橋 洋一

皆さん、こんにちは。校長の高橋です。父母の会会員の皆様には、平素より本校の教育にご理解とご協力くださいます。心より感謝申し上げます。去る五月二十日に開催された平成二十九年父母の会総会では役員の改選が行われました。これまで本校教育の充実と発展にご尽力くださいました松澤旧父母の会会長様を始めとした旧三学年の役員の皆様方には、三年間大変お世話になりました。衷心より感謝申し上げます。また新たに役員をお引き受けくださいました桂川新会長様を始めとした新役員の皆様方には、今年度いろいろとお世話になります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、高校の近況ですが、今年の三月卒業生の進路結果については、近年、進路実績は年々向上し

てまいりましたが、国立公立大学に二十五名の合格者を出しました。前年度には及びませんでした。旧帝大の東北大、九州大にも合格者を出し、また私学の雄である早稲田大学に四名合格し、少ないながら本校では過去最多の合格者数となりました。私立大は総計二百六十七名、短大六十九名、専門学校本百二十三名、就職も希望者五十二名が全員内定をもらうなど、それぞれが進路を決めて卒業してゆきました。これは、本校が横並びの教育ではなく、二学科七コースの「コース制」を導入し、十二年目を迎えておりますが、科コース毎の責任者を設け、教職員一同が、保護者とコミュニケーションをとり合いながら、生徒一人一人に目を配り、日々教育に当たってきた結果と考えております。

また、新入生ですが、この四月には四年ぶりに定員の五百名を超えて、五百四十五名が入学致しました。これは、受験生や保護者から、本校の教育に対して、信頼と期待を寄せて頂いた結果と考えております。お蔭様で、平成二十九年度は、生徒数総勢千三百九十六名、四十クラスで始めることができました

た。我々教職員一同は、生徒保護者の信頼と期待に応えるべく、一丸となって生徒の教育に取り組み決意を新たにしているところです。

部活動関係では、五月半ばに行われた県高校総体で、本校は六つの競技が優勝し、八つの競技が関東大会出場を決めました。特に、空手道部女子は二十七連覇を達成し、アーチェリー部男子は十一連覇、女子は二十一回目の優勝を達成し、フェンシング部女子も九連覇、二十九回目の優勝、男子は団体、初優勝を成し遂げ、県代表になりました。また、バレーボール部は昨年に引き続き十一回目の優勝を果たしました。また、野球部も、『夏の高校野球群馬大会』で、二回戦太田高校に十一対〇(五回コールド)で勝利し、三回戦対太田工業高校に十二対六で勝利し、四回戦は、第一シードの前橋育英に、〇対八(七回コールド)で敗退しましたが、この夏の大会でベスト十六は、本校では過去最高の結果を残してくれました。選手は、これまで培ってきた力を存分に発揮して、最後の最後まであきらめないで、全力で戦ってくれたと思います。また、夏のインターハイや全

国大会には、空手道、フェンシング、アーチェリー、水泳、囲碁、バトン、放送、文芸が出場しましたが、結果については、冊子の最終頁をご参照ください。今後、さらに団体へも、いくつかの部活動が出場することになりますので、父母の会会員の皆様には、応援を宜しくお願い申し上げます。

また、一学期をふり返りますと、「表現する」活動が目立ちました。六月のオープンスクールでは、先生ではなく、「商大スクールガイド(SSG)」による学校紹介が、パワーポイントを使って行われました。SSGは、それぞれ立派に説明をこなしていました。また、図書委員会主催の「ビブリア・バトル」が開かれ、熱のこもったバトルが繰り広げられました。これは、参加者各自がお薦め本を五分間で紹介し、その後三分間のディスカッションを行い、参加者全員がこれを繰り返した後、投票により「チャンプ本」が決められるというものです。参加生徒の発表には感心しました。また、七月には「生徒会役員選挙」も行われましたが、事前に放送スタジオからモニターテレビを通じて、一度所信

表明を行った後に、選挙当日の本番で再び立候補者と責任者の熱のこもった演説が各学年の生徒に対して合計三回行われました。これからの時代は、自分の考えを、表現して行くことがますます求められます。生徒諸君には、これからも積極的に自分の考えを発表する機会に参加していただき、表現力を磨いてほしいと願っています。

また、学校行事関係では、この十月中旬には一年おきに行われてきた、従来「体育祭」と呼ばれてきたものが、今年度からは「スポーツ祭」と名前を変えて内容も新たに、この四月にオープンしたばかりの「高崎アリーナ」で二日間にあわせた開かれます。生徒にはクラス作りの一助になるよう積極的に取り組み、実り多き行事にしてもらいたいと考えております。父母の皆様にも時間が許せば、「高崎アリーナ」にお越しいただき、お子様の応援を兼ねて生徒の活動の様子をご覧いただければ幸いです。

施設設備面では、二年前から、旧第三校舎の取り壊しにより、フェンシング部と卓球部がそれぞれ体育館と講堂に移動し仮住まいして

いて、練習が窮屈な状態が続いております。その辺のことを法人の方でも考慮していただき、今後さらに体育施設の充実を図るため、この四月に新武道館建設に向けて検討委員会を発足していただきました。平成二十九年度中に設計を完了し、平成三十年度末に完成を目指します。

教育指導体制としては、今年一月から学校とは少し離れた立場の外部のスクールカウンセラーの方に、毎週金曜日、午前十一時から午後五時まで一日常駐していただいております。生徒だけでなく、保護者の方も相談のついでにいただける機会を設けましたので、何か相談したいことがございましたらご連絡下さい。

本校ではこのように、生徒一人一人が自己実現に向けて、安心して学習や部活動に取り組み易い環境がますます整い、学校全体が活気に満ちている昨今であります。父母の会会員の皆様には、どうぞ、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げますと共に、会員の皆様一人一人のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

学年委員長挨拶

三学年委員長 蠟山香代

本年度、三学年委員長を務めさせて頂きます蠟山です。宜しくお祈り致します。

子ども達が入学し、早くも最終学年となりました。勉強に部活に、様々な行事、お友達との日々の交流にと、あっという間だったのではないのでしょうか。そして、三年生、進路選択となりました。進路を考えることは、単純に「進学」か「就職」かというだけではなく最終的に「自分が将来どのような生き方をしたいのか」を考えることです。なかなか難しいことですが、三年後・五年後の自分がどうありたいのかを見据え、考えてみて下さい。

今の社会は、多様化し、変化の激しい時代です。卒業していく皆さんが、生きがいを持ち希望に満ちた豊かな人生を送ってくれることを願っています。そのために、自分の進路を真剣に考え、家族や先生と十分に話し合ってください。

そして、最終的な決定は自分で、将来の自分に悔いを残さない選択をしてほしいと思います。

最後の一年、子ども達の高校生活が充実したものとなるよう、お手伝いできたらと思います。

二学年委員長 生沼英治

昨年に引き続き学年委員長を務めます生沼です。よろしくお祈りいたします。早いもので二年生はもう高校生活の半分が過ぎようとしています。卒業後の進路についていろいろと考える時期になりました。父母の皆さんとお話しているともう自分の将来を決めているお子さんといえば、まだまだ決めかねているお子さんも多いようです。親としては色々気が揉めますが決めるのはあくまでも本人です。就職に関しても、進学に関しても私たち親の時代とはだいぶ常識が変わっているようです。就職では大きな会社だけにこだわるのではなく、中小企業にも目を向けると子どもにあった会社が見つかるかもしれません。進学でも有名大学以外にも本当に子どもがやりたいことができる学校があるかも

しれません。親の思い込みで子どもの可能性を摘むことのないようにしたいと思います。

幸い商大附高はとても面倒見の良い学校です。先生方と良くコミュニケーションをとって子どもたちをサポートしていきたいと思えます。今年も父母の会の活動にご協力をお願いいたします。

一学年委員長 小野里 誠

今年度、一学年の委員長を務めさせて頂きたくします小野里と申します。どうぞよろしくお祈りいたします。

四月の音楽センターでの入学式も随分前のことと感ずるようになりました。子どもたちの制服姿も板についてきており、少しずつ高校生活に慣れてきたのではないのでしょうか。ただ、慣れてくると予測の事態等起きやすくなりますので、そんな時こそもう一度気を引き締めて、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

さて、今回役員をやらせていただくにあたり、父母の会の目的について考えてみました。会則には、「教育の充実と発展に貢献するこ

とを目的とする。」とあります。また、その目的を達成するために、行う事業として、懇談会、研究協議会、後援会、講習会、レクリエーション等とあります。個人的には、教育についてどうこうというのは難しいので、まずは、達成するために、行われる事業等にできる限り参加して、学校、父母の会に貢献していきたいと思えます。三年間大変お世話になりますが、よろしくお祈りいたします。

出席者感想

普通科特進三年 小林潤子

毎年、貴重なお話を聞くことのできる学年懇談会が、部活動の大会日と重なってしまったため、二回目開催の懇談会に出席させていただきました。

再度の懇談会でありますのに、予想に反し、日々お世話になっていく先生方が、各進路について丁寧にお話下さいました。本格的に進路決定が始動している事、家庭できちんと話し合いがもてていない事を、今更ながら痛感し、反省

いたしました。こんなにも、個を受け入れ、傾聴し、その上で一緒に考え導いて下さる先生方にめぐり逢えたことに、改めて親子共々感謝します。

その後の個人面談時も担任の先生に長い時間を割いていただきました。希望する進路の達成に向けて精一杯努力する事は勿論ですが、残り少ない高校生活を謳歌してほしいと思います。
がんばって、三年生♡



榊さんぼう 土橋英生先生

普通科進学三年 中島 晶子

早いもので最終学年となり、進路を決めなくてはならない時期になってきました。第一部の「進路達成に向けて」の講演会では進路を考えるにあたり、大切な事を確認でき、改めて日々の子どもの会話を思い返し反省したり、接し方考えさせられたりしました。部活動に一生懸命な日々、目標が見つかり達成できることを願うばかりです。

第二部の学級懇談会では、三年生の行事予定を通し、就職について、受験について、一つ一つ丁寧な説明がありました。あつという間に卒業式を迎えるんだと感じました。この残り少ない高校生活を悔いのないよう努力し、充実したものにしたいと思いました。そして、この高校に通って良かったと思えるような素敵な時間を過ごしてくれたらと思います。

普通科国際文化コース

三年 井川 花子

学年学級懇談会の講演会は「進路達成に向けて」というテーマでした。就職を視野に入れて進路を



考える上で、親子ですべき準備について具体的な事例も交えながら役立つ助言をいただきました。

印象深いのは「社会が求めている人物像」に「自己肯定感が育まれている人物」が入っていた事です。自己肯定感が育まれるには、周りから褒められることが必要です。当たり前ではありますが、保護者が子どもを褒めずに自己肯定感を育むのは難しい筈です。正直、最近我が子を褒めた記憶がありません。マズイ。気を取り直して親子で最新の進路情報の収集に努めつつ、褒める所を意識して高校卒業に向けて見守る所存です。

こんなちゃんぽらんな親子を温かく、忍耐強くご指導頂いた先生方、特に担任と学年主任の先生に厚くお礼申し上げます。卒業まで後しばらくご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

総合ビジネス科三年 早川 尚香

第三学年・学年・学級懇談会は、「進路達成に向けて」をテーマに開催されました。

第一部講演では、さんぼう・土橋英生講師による、最近の進路状況と保護者の生徒への関わりについて講話いただきました。

近い将来、社会に出て行こうとする子ども達に対して、どの様な意識と知識を持って取り組めば良いのかを学び、進路について改めて親子で話し合う機会を得ることができました。

「進路」を考える上で、何を目的として自分の進むべき道を選ぶのか、社会に必要とされる人材とは、就職先ではどの様な力が求められるのか、社会に必要なコミュニケーション能力とは、など将来を見据えた講話に進路選択の本質のようなものを見た思いました。第二部学級懇談会では、担任の

田村先生によるお話と、総合ビジネス科資料を用いて、進学・就職について、限られた時間の中で実例を交え経験に裏付けられた密度の濃いお話を聞くことができました。

日頃より、生徒一人一人の思いと個性を大切に熱心にご指導下さいます諸先生方、商科大学附属高等学校の幅広い学びの場に変な感謝致しております。

今回はこのような学びの場を設けていただきありがとうございます。

普通科特進二年今井真理

七月二日、入学して二回目の学年級懇談会が行われました。

学年懇談会では、講師の先生より「子ども自身が覚えていない長所や短所など言葉に気をつけながら気付かせてあげられる会話を。」「子ども自身が十年後の自分を語れるよう家族の会話が大切。」と、何気なく過ごしている日常の会話の大切さに改めて気付かされました。

教室にて学年級懇談会では、担任の先生より入試についての説明や、昨年度の修学旅行の様子を見聞き

しながら、夏休み中にパスポート取得や寺院など巡るのに相応しい私服の話などしていただきました。グループでの話し合いでは、子どもの様子など話が尽きる事なく交流を深める事ができました。ありがとうございます。

子ども達の未来が明るいものとなりますよう願っています。

普通科進学二年関由紀子

年に一度の学年級懇談会において、進路別の講演会が行われました。親世代の時とは全く違い、複雑になっている進学について、色々お話をお伺いすることができ



ました。大学受験をするにあたり、その目的意識と将来を見据えてきちんと自覚があるか、自己・他己分析、なりたい自分をきちんとイメージができているか、など、本人のみならず、家庭でも常に会話をし、親から見た「良い所」「悪い所」を気付かせていくことが、大学受験だけでなくその先社会に出ていく時にも重要なことなのだと改めて気付かされました。家庭の中でできることは、まず生活習慣や挨拶、「当たり前」のことをきちんと定着させる「ことが大切で、そうしたところから自覚が芽生えてくるのだと思いました。

以前、青山学院大学駅伝の原監督が、「自分の考えをきちんと伝えられない子は、どんなに選手としての能力が高くてもチームは必要としない。きちんと伝える・表現できる子だけを入学させている」という話を聞いたことがあります。が、今回の講演会でのお話と同じように、社会で求められるのはまずコミュニケーション能力だと思えます。学校でも家庭でも静かに黙々とではなく何でも話せる環境が大切なのだと思います。学年級懇談会では、大学入試の考



え方や方法をそれぞれの違いについてお伺いしました。進路を考える時成績はもちろんですが、学校生活においてきちんとした生活態度、遅刻・早退・欠席が多いと、評価として難しいので、本人も含め家庭においてもきちんと管理監督していくことが重要だと感じました。これから更に進路については先生方よりご指導いただくとありますが、子ども達が自分自身ときちんと向き合い、悩んで最善の結果を導き出せるよう、親としてしっかりと関わって行きたいと思えます。

普通科国際文化コース

二年 渡邊 亮治

進路講演会を聴講し、親として考え方を改めなければならぬと感じました。

世間の評判がよく、就職に有利な大学に進んで欲しいと望みがちですが、「好きな事を四年間続けさせる。」という言葉にハッとさせられ、親としての覚悟が必要なのだと考えさせられました。

入試や就職時の面接で、長所や短所、それにまつわるエピソードなどが話せるよう、普段からコミュニケーションをとることの大切さを教えていただきました。

学級懇談会では、担任の先生からクラスの現況や入試の種類などをまとめた冊子を配布していただき、普段の学校生活の様子などの話を理解する上で非常に役に立ちました。

おかげでその後の懇談会でも有意義な意見交換ができたと思っています。ありがとうございました。

普通科特進一年 鶴崎 実花

第一部学年懇談会は、冷房の効いた教室で、我が子の席に座り快

適な空間で始まりました。学校のスタジオからの生中継は、先生や役員の方々のお顔の表情もよく分かり身近に感じられました。

移動することなく第二部学級懇談会は、そのままの席で始まりました。まるで、子どもと入れ替わり授業を受けているようでした。

保護者面談で多く話題に上ったという子どもとの関わり方についてお話ししました。「学力の経済学」という本の内容とパソコンを使ってのお話は、分かり易く興味深いものでした。今まで当たり前のように使っていた褒め言葉が実は子どものやる気を失わせてし

まうなど、子どもにかけられる言葉を考えさせられました。そして大学入試の仕組みや費用、学費の説明もあり、有意義な時間でした。また、細やかなご配慮にも感謝いたします。

普通科進学一年 櫻井 千春

六月二十五日、第一学年の学年学級懇談会が行われました。先生や保護者の方々と意見交換を持つことができ、貴重な経験となりました。

学級懇談会では、学校の様子をスライドで見せて頂き、先生方の熱心で温かなご指導のもとに恵まれた環境で高校生活が送れていることのありがたさを改めて感じさせられました。グループで行った話し合いでは、各家庭での子どもの様子を交換し合い、先生と共に和やかで有意義な時間を過ごすことができました。進路指導や生活指導の話においても身の引き締る思いで、特に進路の面では一年生からしっかりやっておくことの重要性、親子で真剣に話し合っていくことの大切さを痛感しました。

このような会に参加できる機会

を頂けたことに感謝し、今後の高校生活が実りあることを願って、親として出来る限りのサポートをしていきたいと思えます。

総合ビジネス科一年 相沢 智恵

入学の春から夏へ季節が移り変わる前の六月二十五日に、一学年の学年学級懇談会が「充実した高校生活を送るために」というテーマで行われました。

進路指導の話では、大学進学へのミスマッチが起きない様にする事、目的意識を確認する事の大切さを知りました。早い段階から将来のイメージを持たせ、子どもと一緒に情報収集など準備をしていきたいと思いました。

生活指導では、携帯電話との付き合い方の重要性、そして登下校の交通安全、今一度、子どもとルールの再確認と、日頃の声掛けを心掛けていきたいと思いました。

学級懇談会では、先生からS科ならではの検定を意識した目標と仕事を意識した指導をクラスで徹底していくというお話を聞きまし。目標に向かって頑張る努力がこの先実を結ぶ様、生活を送って欲しいです。 県高等学校PTA



群馬県高等学校PTA連合会総会に参加して

平成二十九年六月九・十日 伊香保 ホテル天坊
 参加者 桂川 淳・蠟山香代・生沼英治・石綿綾子・岡田将彰

連合会総会・教育懇談会が六月九・十日に行われ、高橋校長と本部役員五名で参加させて頂きました。

初めて参加しましたが、その人の多さに圧倒されました。正確な人数は分かりませんが、ゆうに五〇〇名は超えていたと思います。

懇談会では、少子化による子どもの減少において直面しているこれからの学校のあり方、学習規模・部活動の充実を図り、一定の学級をしっかりと維持していかなければならない現実を改めて感じました。

そして、スマイリーキクチさんによる「言葉の責任 ネットの被害者・加害者にならないために」の講演会がありました。ネットの恐ろしさを痛感しました。SNSは、速効性と拡散性をもつツールであり、消えないデジタルタトゥーであること。ネットの情報を真偽も判らぬままに多くの人が使用し

ていること。被害者にも、加害者にもならないために、書き込みを見る時・書き込む時、一度立ち止まり考えてみることの必要性をとっても感じました。

また、ネット上の誹謗中傷の対処法、警察に行く際の手順と注意点、相談窓口の紹介など具体的な話を聞くことができました。スマホもネットも私達の生活に欠かすことのできない道具であるからこそ「適切な使い方」を知ることが大切と改めて思いました。

全体の懇親会終了後に私立高校だけの懇親会がありました。そこで学校ごとに紹介をしました。聞いていて父母や先生にも学校によってそれぞれにカラーがあるような気がして面白かったです。また、ほかの学校の様子を聞く良い機会になると思いますので皆さんのご参加をお勧めします。

父母の会総会報告

平成二十九年年度高崎商科大学附属高等学校父母の会、部活動後援会総会が、五月二十日(土)午後二時から本校講堂にて開催されました。蠟山副会長の司会進行、石綿会計による開会宣言で総会が始まり、松澤会長、高橋校長より挨拶、近況報告がありました。続いて議事に入り、事務局より平成二十八年年度事業報告、決算報告並びに、監事より監査報告があり、慎重審議のもと承認されました。

次に本部役員の改選が行われ、平成二十九年年度新会長に桂川淳氏が選出されました。同時に副会長三名以下総勢三十四名の役員が選出、承認され、新体制がスタートしました。桂川新会長挨拶の後、平成二十九年年度事業計画案、予算案が発表され、原案通り承認されました。

最後に、本会にご尽力頂いた松澤前会長始め、退任された役員の方々に、学校長より感謝状と記念品が贈呈され、退任者挨拶の後、会員の皆様のご協力をもちました総会が無事に終了することが出来ました。新年度役員は別記の通りです。宜しくお願致します。

(書記 海老沼 久之)

父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会長	桂川 淳 (F3-7)	理事	中島 康代 (F3-4)	理事	関 由紀子 (F2-9)
副会長	蠟山 香代 (F3-9)		吉井 美恵子 (F3-6)		齋 藤 敦子 (S2-1)
	生沼 英治 (F2-10)		加藤 有希枝 (F3-7)	監事	石 井 弘 幸 (F3-5)
	小野里 誠 (F1-3)		高橋 浩美子 (F3-8)		角 田 みどり (S3-2)
書記	海老沼 久之 (S3-1)		高米 悦子 (F3-9)		榎 本 恭子 (F2-1)
	儘 田 文子 (F2-3)		中井 晶子 (F3-10)		樋 口 大 輔 (F2-5)
	伊勢 亀隆一 (F3-1)		中井 花子 (F3-11)		古 井 戸 克 司 (F1-1)
会計	石綿 綾子 (S2-2)		井 今 真 理 (F2-2)		平 井 薫 (F1-5)
	岡田 将彰 (F3-2)		奥 原 美 代 (F2-4)		笠 原 美 穂 (F1-6)
	岩 井 則 和 (F3-3)		唐 澤 美 香 (F2-6)		大 島 昭 一 (F1-7)
理事	小島 美智子 (F3-3)		根 岸 佳 恵 (F2-7)		
			新 井 佳 恵 (F2-8)		

平成29年度 第1回マナーアップ運動に参加して

6月15日に第1回マナーアップ運動が実施されました。登校時の生徒の安全、公共マナーや挨拶等の向上を図る目的でご父母の協力の下で年3回実施しているものです。参加して頂いたご父母の皆様に感想を寄せて頂きました。

- 今にも雨が降り出しそうな朝、生徒達と交わす挨拶が心地よく清々しい時間を過ごすことができました。踏切周辺は段差も僅かにあるため、混雑する通学時間帯は危険を感じました。遮断機がおりかけている時に線路を渡る数名に思わず大きな声を出してしまいました。電車が30分に1本ということで想像以上に人通りや車の量も多くびっくりしましたが、生徒達は毎日の事。充実した1日を過ごすことができますようにと優しく祈り見送らせて頂きました。参加させて頂きありがとうございました。
(小林 潤子)

- 初めまして、1年7組大島優輝の父親 大島昭一です。今回、初めてマナーアップ運動に参加しまして、気付いたことを記載します。
 1. 全体的に歩行のマナーや自転車の走行等、良かったと思います。
 2. 数人の生徒がイヤホン装着して歩行していました。
 3. 8時10分から8時40分は多くの生徒が学校付近にいますので、学校前の道路では自転車から降りて歩行した方が安全かと思いました。
 4. 朝の挨拶をしない生徒や元気のない生徒が散見されました。
(大島 昭一)



- マナーアップ運動に参加しまして、改めて生徒数の多さを感じました。また、朝の忙しい時間の危険性なども考えれば、マナーアップ運動の大切さを感じました。
(吉井 美恵子)
- 今回初めてマナーアップ運動に参加させて頂きました。北高崎駅から県道を横断する箇所での見守りでしたが、登校するほとんどの生徒は学校の指定されたルートで登校していたと思います。注意すべき点としては、道路上で他校、特に中学生との自転車接触事故と、JR踏切での横断（列車が接近しているとき遮断機が鳴っているとき）は引き続き危険なので注意させていく必要があると思います。

(古井戸 克司)

父母の会 平成 28 年度決算報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

収 入 の 部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
会 費	15,516,000	15,789,000	△273,000	@1,000×15,789人(月平均 約1,316人)
入 会 金	2,125,000	2,130,000	△5,000	@5,000×426人(新入生426人)
受 取 利 息	5,000	1,942	3,058	定期預金・普通預金
衛 生 費 収 入	1,313,000	1,314,000	△1,000	@1,000×1,314人
車 輛 償 却 引 当 預 金 取 崩 収 入	2,000,000	2,000,000	0	定期預金取崩
110周年記念事業積立預金取崩収入	17,000,000	17,000,000	0	定期預金取崩
前 年 度 繰 越 金	3,218,198	3,218,198	0	普通預金 2,738,219円 現金 479,979円
合 計	41,177,198	41,453,140	△ 275,942	
支 出 の 部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
備 品 費	900,000	889,920	10,080	教室掃除用具入れ入替 16台
会 議 費	1,400,000	1,178,987	221,013	役員会・学年・学級懇談会経費
慶 弔 費	300,000	358,180	△ 58,180	香典・花輪・饌別
補 導 費	80,000	7,858	72,142	情報交換会・校外の生活指導費等
環 境 整 美 費	2,500,000	1,983,183	516,817	ゴミ分別物置設置・清掃用品・ゴミ処理代
保 健 衛 生 費	1,600,000	1,452,211	147,789	汚物処理・保健室薬品代等
旅 費 交 通 費	150,000	94,740	55,260	役員研修交通費等
部 活 動 後 援 会 費	3,000,000	3,000,000	0	部活動後援会の補助
通 信 費	500,000	430,920	69,080	メールによる生徒連絡網システム年間管理料、他
消 耗 品 費	30,000	12,981	17,019	コピー用紙等
進 路 対 策 費	1,500,000	495,332	1,004,668	2017年度版大学入試シリーズ・講演会
生 徒 会 事 業 協 力 費	2,000,000	1,192,457	807,543	芸術鑑賞(狂言)・予餞会・学園祭協力金
卒 業 生 記 念 品 費	260,000	239,652	20,348	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	700,000	431,964	268,036	教職員研修補助
印 刷 費	700,000	624,240	75,760	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	2,000,000	1,352,454	647,546	車輛燃料代・車輛購入補助
諸 会 費	3,000,000	2,580,731	419,269	PTA連合会費・スポーツ振興センター負担金 高P連昭償責任補償
雑 費	200,000	103,168	96,832	大会パンフレット協賛広告料等
車 輛 購 入 費	2,000,000	2,000,000	0	リース車輛入替購入
創 立 110 周 年 事 業 寄 附 金	17,000,000	17,000,000	0	創立110周年記念事業積立金寄附
育 英 基 金 協 力 金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[予 備 費]	300,000	0	300,000	
次 年 度 繰 越 金	57,198	5,024,162	△ 4,966,964	普通預金 4,513,857円 現金 510,305円
合 計	41,177,198	41,453,140	△ 275,942	

※ 慶弔費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
車 輛 償 却 引 当 預 金	前期末積立累計額 5,600,000	創 立 110 周 年 記 念 事 業 積 立 金	前 期 積 立 累 計 額 17,000,000
	当 期 取 崩 額 △ 2,000,000		当 期 積 立 額 △ 17,000,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	3,600,000	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	0

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長
" 父母の会 会計
" 事務局

部活動後援会 平成28年度決算報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

Table with financial data for income and expenses. Income section includes items like '会費' (23,274,000) and '前年度繰越金' (3,633,779). Expense section includes '大会費' (18,000,000) and '前年度繰越金' (57,779). Total income and expenses are 45,873,692.

※大会費の予算超価額については、部活動振興基金の取崩及び他科目予算残高で科目間流用いたしました。
※寄附金収入について 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

※特別繰越金

Table showing special carryover funds. It details the '部活動振興基金' (Department Activity Promotion Fund) with a balance of 15,500,000 and a carryover of 3,000,000.

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 部活動後援会 会長
" 部活動後援会 会計
" 事務局

息入られて、自分の立ち位置を確認してから次の行動に移って下さい。
改めて、目標を持つことが充実した高校生活のパワーの源になっていると確信しています。

実践している姿を見ると、頼もしく感じています。
入学して、本人の希望で部活にも挑戦しています。親の立場からすると、学業と部活を両立させていくことは、大変なことであると感じています。しかし、本人が決めたこと(目標を持つこと)を実践している姿を見ると、頼もしく感じています。

三つ目は、これからの人生において信頼できる友をつくってもらいたいことです。
二つ目は、自分の目標を持ってもらいたいことです。

一年生 父母が語る
我が子に望む
高校生生活
普通科特選 古井戸克司

親としても我が子の高校生活を楽しみながら見守っていきます。

普通科特進 松野 イン

この高校に入学を決めたのは娘自身でした。入学からもう四ヶ月が過ぎた今、娘の成長した姿に親として商大附高に入学させてよかったと思います。

高校という新しい環境で学ぶのは不安なこともあるでしょう。失敗することもあるかもしれませんが、不安になってもいい、失敗してもいいので失敗を恐れることなく、まっすぐに前に進んでほしいです。そして新しいことにもチャレンジしてもらいたいです。その方がきっと高校生活は楽しくなると思います。

また、三年間で学んでほしいことは「自立」です。自分で自分を観察する力を磨き、自分自身をよく知ること。そして、得意分野を生かし、苦手な部分に関しては努力を惜しまず、出来ることは目標を持って努力し、出来ないことは周りの人にサポートしてもらい、感謝の気持ちを忘れないで生活してほしいです。

三年後には自分の得意な分野を生かして社会で活躍できる人になってください。

普通科特進国際 平井 薫

息子は、小学生の頃から空手を習い始めほぼ毎日道場に通っていました。中学校には空手部が無く部活動に入らなかったため、先輩後輩という関係を築けませんでした。

高校の空手道部で活動し、高校生活を送りたい、と気持ちは固まったものの、どこの高校で活動したのか、最後まで本当に悩みに悩んで本人が、商大附高、という答えを出しました。私も大きく頷きました。それは親としても、理由があったからです。

入学して四ヶ月経ちましたが、部活では全国の上を目指す先輩達に囲まれ、付いて行こうと必死な毎日の様です。一年生の今は裏方の仕事に追われ、気を遣い、自分達の身の入る練習は、まだこれからの事です。でも、それこそが、商大空手道部の良い所だとも感じています。空手は基本的には個人競技ですが、今の様な下積みみの立場を経験するからこそ、部全体の事を考え、思いやり、すぐさま動ける力が身に付くのです。それはきっと社会に出てからも様々な場面で必ず役に立つでしょう。

息子の目標は世界人との事で、それに必要な学業の出来るコース

にも恵まれました。

毎日汗だくになり、五十分の自転車通学で帰宅しますが、きつとあつという間の三年間です。夢中で駆け抜けて欲しいです。その先には、見えてくる物、掴める物が数多くあると思います。私達も親として、常に応援しています。

普通科進学 笠原 美穂

入学して早いもので四ヶ月が過ぎようとしています。この四ヶ月の間で、沢山の人や物に出会い刺激を受け毎日充実した日々を過ごしていると思います。

勉強や部活動、そして友達と過ごしている時間はあなた達にとって全て大人になる為の準備として必要な事。良い事も悪い事も嬉しい事も辛い事も無駄な物一つもありません。今は当たり前だと思いう事でも素敵な未来の為に大事な経験、一日一日大切に過ごして下さい。

時には壁にぶつかり、悩み、苦しむ場面に向き合わなくてはなりません。そんな時には一人で泣かず悩まず恥かかしながら相談して下さい。私達そしてあなた達に関わるたくさんの方があなたの声に耳を傾けてくれます。安心して下さいね。

進路については先生や先輩方から

情報収集し、資料等を自分で集め、進路を決める材料を用意して、一歩ずつ目標を明確にし、努力して下さい。私達親もその目標が達成できる様出来る限りサポートしていきます。

三年後の春にはみんなが笑顔で素敵な大人への第一歩を踏み出せる様この先もずっと応援していきます。悔いのない素晴らしい毎日が過ごせます様に。

総合ビジネス科 中嶋 真由美

早いもので、春、何もかも新しい物を身につけ、入学式があつてから夏休みに入りました。

六月の学級懇談会では、一学年全部のクラスのそれぞれの意見が聞け、多少携帯電話の使用の心配があつたものの、みなさん学校生活が楽しいという意見が多数ありました。単純な事かも知れませんが一番大切な事だと感じました。

仲の良い友達、信頼できる担任の先生をはじめ、たくさんの方、先輩がいるからこそ、勉強や部活など新しい事がたくさんある中、生徒達は頑張れたのだと思います。個人の感想になってしましますが、初めてお会いしたお母さん、お父さん達はとっても感じの良い人達で嬉しかったです。三

年間はとても短く早いものです。生徒達には、これから大人になっていく段階のとても大切な三年間です。誰一人後悔のない三年間を送っていただきたいと思えます。この商大附高に入学して良かったと、進学を考えている生徒も、就職を考えている生徒も、それぞれ一人一人が夢を持ち、その夢が叶う事を、自分の子どもをはじめ、すべての生徒さん達に心から願っています。

まだ一年生で緊張感があると思います。二年生、そして三年生と先輩になるに当たり、慣れという事が出てくると思います。今の気持ち、そして高校生活を忘れず大切に毎日の生活を送って下さい。これからも、校長先生を先頭に、生徒達の高校生活がより良いものとなるよう変らぬご指導をお願い致します。



特別進学選抜・特別進学コース
特別進学国際コース

主任 大澤 香代子

今年度より、従来の特別進学選

抜・特別進学コースに加え、国際コースが新設されました。国際コースでは、特進コースのカリキュラムをもとに、英語の授業時数を増やし、スピーチやプレゼンテーションに重点を置き、スピーキング能力の向上を図りたいと考えています。

グローバル化や急速な少子化による生産年齢人口の減少に伴う外国人労働者の受け入れにより、労働環境の国際化が急速に進行しつつあり、それは国内の地方都市においても例外ではありません。職場において、英語コミュニケーション能力が必須となる日も近いことでしょう。さらに、伝えるべき知識や技能・思考力や判断力・豊かな人間性を備えていることも必要とされており、これらの能力は、国際コースだけに限らず、全コースの生徒が身につけなければならぬものです。

そこで、特進全コースでは、昨年度より四泊五日でシンガポール・マレーシアへの海外修学旅行を実施しています。現地の企業・学校・福祉施設・家庭への訪問や学生ガイドとの市内見学と、充実した内容の旅となりました。特に現地の人々との交流は楽しく思い出深いものとなり、異文化に対する興味関心や英語学習への意欲が大いに

高まったようです。これを機に、世界に目を向け、将来グローバル社会で活躍できる能力の獲得に結び付けてもらえれば幸いです。

一学年進学コース主任

菊池 弘幸

ついこの間入学したと思っただらあつという間に一学期が終わり、高校生として三回しかない夏休みの一回が終わってしまいました。勉強と部活の両立を目指す進学コースの生徒の多くは、真夏の炎天下を走り回ったり、室内でも汗をかきながら、一生懸命頑張っていました。全体としてどのような夏休みであったのか気になるところですが、それは今後の生活に反映されてくることですので、大いに期待して見守っていききたいと思えます。

ところで一学期の進学コースですが、二七〇名の生徒の中で一八六名が皆勤でした。そして、惜しくも皆勤を逃した生徒の中には、一度の遅刻で逃している生徒も多く、全体として欠席や遅刻は少ない一学期間でした。また先ほどお話しした部活動は、一四二名が運動部、七八名が文化部に所属しており、約八〇%の生徒が何らかの活動をしている現状にあります。二

学期はさらに沢山の皆勤者が出るように頑張ってもらいたいと思うと同時に部活動での活躍も期待したいところです。ところで、その二学期ですが、一年の中で一番長い学期で高校生活にも慣れた一年生にとっては腰を落ち着けて勉強に、部活に取り組める期間となり、つまりここでの取り組み方によって今後の成果に差が出ることになるわけです。

世の中を見渡してみると、景気が回復してきたとはいえ、なかなかそれを実感することができない状況が続いています。また、大学生の就職内定率はかなりの高水準ですが、「ブラック企業」などという言葉が飛び交う現状を考えますと就業環境に不安を感じずにはいられません。こんな時代だからこそ自分の将来をしっかりと見据えて今できることをやらなければいけないのではないのでしょうか。

物は確実に豊かになり、高学歴にもなりましたが、定職について生活していくことはどうでしょうか。二十年、三十年前と比べれば明らかに大変になっているのではないのでしょうか。そして、このような時代を生きていく若者には、いよいよ本当の意味での個性が求められるのかもしれない。

二年進学コース主任

田村 章

二年生の夏休みも終わり、時間が経つのは早いもので高校生活の半分が終わってしまいました。この夏休みを利用して自分の進路選択に向けて考える時間を作ることができましたか。この時期から進路達成に向けて真剣に取り組むことが大切です。

進学コースは部活動と勉強の両立という目標を掲げております。今年の夏休みも数多くの先輩方が活躍し立派な成績を残しました。その先輩方も引退し、これから部活動の中心になるのは二年生です。精一杯努力して有意義な高校生活を過ごしていきましょう。

将来役に立たないことも学ばなければならぬのかということに耳にすることがあります。確かに大人になっても使わないこともあると思います。しかし、様々な教科を学習していく中で、難しいことでも覚えられたという経験が、その後の人生において自信につながり、様々な問題を苦労して最後まで自分で解決したという経験が、これからの人生で新しい問題にも対応できる力になっていくと思います。様々なことを経験して素晴らしい二年生にして下

さい。

三年進学コース主任

高橋久雄

本校に入学して瞬く間に二年半が経ち、いよいよ進路達成に向けてまとめとなる大切な時期になりました。一学期は進路講演会、模擬試験の実施、部活動の引退など受験勉強への意識づけとなる時期でした。一、二年時に比べ、欠席、遅刻が激減し、生徒の意識も進路達成に向かっていると感じました。今年も求人状況も例年に比べ良く就職希望者にとっては朗報です。

第一志望の選択について、一学期の段階は広い視野から学力も含めた現実的な志望校決定をしておく時期でした。第一志望校に凝り固まっている生徒や、希望を大きく変更した生徒もいました。夏季休業中の三者面談において、教員側は、生徒の声に耳を傾け、状況をよく確認し適切なアドバイスをする、大学・短大・専門学校等の学部学科の内容や就職情報、入試科目、出題の特徴などを研究しておくことを心掛けました。生徒には、夏期講座・オーブンキャンパスへの参加、毎日六時間以上の学習をお願いしましたが、実行できたでしょうか？受験科目の学習、

面接、小論文対策等やるべきことは尽きないと思います。

二学期には多くの学校で推薦入試が実施されますが、推薦入試に固執せず、自分の実力を試す意味でもセンター試験、一般受験にチャレンジして欲しいと思います。自分の将来についてしっかりと目標を持ち、進路達成は自らの手で決めなければなりません。「今が大事」なのです。人は自己の未熟さを責め、自己に対して厳格でなければならぬと思います。「われ以外は皆わが師」という謙虚な心も大切です。卒業まで決して気を緩めず、絶えず向上心を持って歩んで行って下さい。努力は人を裏切りません。そして、自分なりの勝利を勝ち取って下さい。

国際文化コース主任

井出聖和

「五九〇万」。世界では五九〇万人の子どもが、五歳になる前に命を失っています。一年間で五九〇万人の子どもが、五歳の誕生日を迎えられない。その八〇%が栄養失調や病気によるもの。学校に通えない子どもが六一〇〇万人、安全な水が確保できない人が六億六三〇〇万人いる。これが世界の現実です。

私は、この夏、部活の生徒を引率し、「二〇一七ユニセフリーダー講座」に参加しました。約六〇名の中学生・高校生がユニセフハウスに集い、世界の子どもたちの現状やネパールからの留学生エソダさんの講義をベースに、もし自分がユニセフの担当官なら何が出来るだろうかなどについてアクティブラーニング形式での作業に積極的に取り組みました。若いから思いつく発想や考え、普段の学校生活では見ることのない光景を目にし、「気づき・考え・実行する」ことの重要さを、生徒の姿を通じて再認識させられました。

「直観力」「洞察力」「大局観」、これらは経験を通じて獲得される「知恵」に他なりません。この夏、様々な「経験」を通じて獲得した「知恵」を自らの成長に大いに役立てて下さい。

総合ビジネス科主任

善如寺 孝益

総合ビジネス科では、本年度より新しく「会計コース」がスタート、初年度は男女一〇名での船出です。早速、日商簿記検定受験に取り組んでいます。これは、学園の新しい取り組みの一つで、ホールAプロジェクト（会計教育推

進”といい、高崎商科大学のバックアップを全面的に受け実施されています。その結果六月の検定で半数が三級に合格することができました。今後更なる成果が予想できるような結果でした。最終目的としている、公認会計士や税理士の輩出も夢ではなく現実味を帯びてきたように思います。私達も実現に向けてしっかりとサポートしていきたいと考えています。

さて、二学期の過ごし方はいかがですか。もちろん勉学に励むことは当然です、しかし、同時にお願いしたいことがあります。それは、どうか、級友や先輩、後輩、先生方・・・様々な人達と、クラスや部活を通じて積極的に関わって欲しいのです。その日々の何気ない関わりから本当の“絆”が育めると思っています。私が考える本当の“絆”とは、まずは、相手を受け入れる。次に、相手に対して関わる。そして最後に、相手(仲間)を決して見捨てない。ことだと思のです。SNSの時代だからこそ、本当の“絆”を学校という場を通じて育んで欲しいと切に願うのです。そして、この関係は何事にも代えられない一生の宝になると思うのです。

頑張りましょう。応援しています。

全学年対象「学校評価アンケート」分析結果について (保護者・生徒共に1307名)

平成28年度末におけるアンケート結果が出ましたので、ご報告させていただきます。傾向としては、本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している生徒が約8割です。総合学習、課題研究にも多くの生徒が積極的に取り組んでいます。服装、頭髪、挨拶、生活のリズム等でも概ね良好の印象を受けます。しかし、家庭学習時間が1時間以上の生徒は43%であり、改善が必要です。授業の予習や復習、演習の学習はとても重要です。また、進路目標を実現するための具体的な取組を決め、次のステップへと進んでもらいたいものです。

- 評価内容**
- 4 … よく当てはまる
 - 3 … 当てはまる
 - 2 … あまり当てはまらない
 - 1 … 全く当てはまらない
 - 0 … 分からない
- 達成度**
- A … 十分達成できた
 - B … 達成できた
 - C … もう少しで達成できた
 - D … 達成できなかった

● 生徒全体	No.	質 問	平均	4	3	2	1	0	達成度
	1	自分は本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している。	3.1	26%	58%	11%	1%	3%	A
2	自分は「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	3.2	32%	51%	14%	1%	2%	A	
3	自分は学習に対して満足感、達成感を持っている。	2.9	19%	56%	20%	2%	3%	B	
4	自分は意欲的に学習に取り組んでいる。	3.1	28%	51%	17%	2%	2%	B	
5	自分は家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.4	16%	27%	31%	24%	3%	C	
6	自分は高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.4	47%	45%	6%	0%	2%	A	
7	自分は登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	3.2	35%	48%	15%	1%	2%	A	
8	自分は、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.3	49%	32%	14%	3%	1%	A	
9	自分は進路指導の行事に積極的に参加している。	2.9	23%	45%	22%	4%	5%	B	
10	保護者は、生徒の将来の進路志望について理解している。	3.3	37%	44%	11%	1%	6%	A	
11	自分は進路の適性をよく理解している。	3.0	24%	48%	17%	2%	10%	B	

● 保護者全体	No.	質 問	平均	4	3	2	1	0	達成度
	12	子どもは本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している。	3.1	28%	58%	11%	1%	3%	A
13	子どもは「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	3.1	26%	54%	13%	2%	5%	A	
14	子どもは学習に対して満足感、達成感を持っている。	3.0	21%	55%	17%	2%	6%	B	
15	子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	3.0	23%	51%	19%	2%	5%	B	
16	子どもは家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.5	17%	29%	32%	18%	4%	C	
17	子どもは高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.4	47%	45%	6%	1%	1%	A	
18	子どもは登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	3.2	37%	45%	14%	3%	1%	A	
19	子どもは、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.3	50%	35%	12%	2%	1%	A	
20	子どもは進路指導の行事に積極的に参加している。	3.0	22%	48%	20%	3%	7%	B	
21	子どもの将来の進路志望について自分は理解している。	3.1	31%	51%	14%	2%	3%	A	
22	子どもは進路の適性をよく理解している。	3.1	24%	51%	16%	2%	6%	A	



高校総体2017(インターハイ)・全国大会結果

クラブ名	期日	開催場所	成績
空手道部	7月28日 ~31日	福島県 猪苗代町 総合体育館	女子個人形 周藤里緒 (F3-2) 第5位 上田実季 (F3-5) 2回戦敗退 女子個人組手 小峯杏子 (F2-9) 1回戦敗退 關塚佳代 (S1-3) 2回戦敗退 男子個人組手 矢菅海斗 (F3-9) 2回戦敗退 女子団体組手 ベスト16
アーチェリー部	8月9日 ~12日	ひとめぼれ スタジアム 宮城	女子団体 5位 堀江絵梨花 (F3-5) 17位 鈴木真子 (F3-5) 17位 女子個人 曾山莉愛 (F3-3) 76位 井上沙月 (F3-3) 101位 男子団体 19位 男子個人 市川和樹 (F3-5) 33位 水野 颯 (F2-4) 96位 石井智也 (F3-6) 105位 藤島拓海 (F2-7) 151位
フェンシング部	7月28日 ~ 8月4日	気仙沼市 総合体育館	男子個人フルール 江藤和博 (F3-6) 2回戦敗退 男子個人エペ 中島直輝 (F3-10) ベスト16 男子学校対抗 江藤・中島・砂山 智 (F3-10)・松井大和 (F2-6)・ 長沼偉穂 (F1-7) 2回戦敗退 女子個人フルール 設楽ゆひな (F2-8) 予選リーグ敗退 岡田梨良 (F1-9) 2回戦敗退 女子個人サーブル 樺澤凧紗 (F3-6) ベスト16 女子学校対抗 樺澤・加藤有紗 (F3-7)・設楽・岡田・塚越愛菜 (S1-1) 3回戦敗退
水泳部	8月16日 ~20日	セントラル スポーツ宮城 G21プール	男子板飛込 大竹玲央 (F1-11) 第4位 男子高飛込 大竹玲央 (F1-11) 決勝進出・12位
バトン部	7月31日 ~ 8月2日	宮城県仙台市 宮城野体育館	第41回全国高等学校総合文化祭 バレード部門、マーチングバンド・バントワリング部門 文化連盟賞
放送部	7月24日 ~26日	東京オリン ピックセン ター	第64回NHK杯全国高等学校放送コンテスト全国大会 テレビドキュメント部門(私の好きなもの) 準々決勝 ラジオドキュメント部門(音・探究隊) 準々決勝
	8月2日 ~5日	日立システ ムズホール 仙台	第41回全国高等学校総合文化祭放送部門 ビデオメッセージ部門(経木伝統を継ぐ) オーディオピクチャー部門(癒し伝統を継ぐ) 共に文化連盟賞
囲碁部	7月30日 ~ 8月1日	宮城県白石市 文化体育活動 センター	第41回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 男女混合団体戦女子代表 岡部朱華 (F3-1) 3勝3敗
文芸部	8月18日 ~20日	岩手県盛岡市 盛岡劇場	第12回全国短歌大会 短歌甲子園2017 予選リーグ敗退(0勝2敗)

編集後記

夏休み、多くの生徒が進路達成に向けて学習室や図書室、進路資料室で学習してました。生徒一人ひとりの「良さ」を伸ばし、弱点を克服して希望進路を実現して欲しいと思います。

昨年、大学の心理学を旨しAO入試で合格した生徒がいます。将来はカウンセラーとして様々な人の悩みを共有する事に就きたいと話していました。彼女は、アドラー心理学を読み、行動と目的の関係を全体論として統合することの重要性を理解しました。挫折した心も感謝し奉仕する行動が、幸福感へと変化する。感謝し奉仕する行動は、他者の幸福を共有することだと気づいたのです。つまり、自分は共同体の一部であり、共同体と共に生きていくという共同体感覚を重視することが、未来に対する建設的な解決方法に繋がるといふことなのです。

そして、彼女は「親愛」「礼節」「整美」の校訓の実践を目的にすることに、豊かな人生に出来るのではないかと考えたのです。豊かさを養い親切と奉仕の実践に努めることによって、心を穏やかに美しく整えることができると考えたのです。

現代は、ストレスの多い不寛容社会であると言われることがあります。自分中心であることが、自己と比較して自分不幸だと決めつけてしまう。自己肯定感がなかなか持てない。どうすればよいのでしょうか。孤独な自分から解放される為には、他者の多く様性を理解し、他者の幸福の為に自分出来ることを実行することが自己肯定感に繋がると思っています。アドラー心理学は、決定論ではなく目的論であると言われている。佐藤タチ先生が校訓の最初に「親愛」が実践を重視されたこと、人生における大切な目的だと思っております。

最後に、「商大附高だより80号」に寄稿頂きましてご父母の皆様及び先生方には感謝申し上げます。(牧口)



高崎商科大学附属高等学校
マスコットマーク

広報編集担当者
小島美智子 (F3-2) 小林 潤子 (F3-3)
高橋 浩美 (F3-8) 角田みどり (S3-2)